

**2010年大晦日の整理解雇から12年**  
**7月13日合意書締結により全面解決**  
— ご支援いただきました皆さまに感謝とお礼を申し上げます —

2010年12月31日に客室乗務員84名が整理解雇されてから11年半が経過した6月24日、日本航空より「労使合意のもとで解決したい」との合意書(案)が提示され、その後も協議を重ね、7月13日、日本航空・日本航空キャビンクルーユニオン・被解雇者組合員44名の合意が成立しました。

整理解雇撤回を求めて提訴した2011年1月当時は72名の客室乗務員原告団でしたが、現在、解雇争議を続ける被解雇者は63名です。2021年12月16日以降、客室乗務員原告団の所属組合が日本航空キャビンクルーユニオン(CCU)と日本航空被解雇者労働組合(JHU)に分かれ、63名中CCU所属被解雇者は44名となっています。

2022年2月以降、客室乗務員原告団の活動休止が続く中でも、CCU被解雇者組合員一人一人の活動として、各自の思いを綴ったメッセージを赤坂社長を含めた役員に提出しました。また、当事者間の意見交換やミーティングを定期的を開催して情報の共有に努め団結を強化してきました。

労使交渉では、特別協議、事務折衝、春闘・夏闘団交や経営協議会を通して「12年目の解決は待たなし」の状況を伝え、労使双方の合意形成に努めました。メッセージの感想として、飯塚人財部長「感銘した」、小枝人財本部長「心が痛んだ。解決しなければならぬと強く思った」、赤坂社長「心を打たれた。役員と共有したい」との発言が続き、6月13日の夏闘団交では「メッセージは共有した。全役員早く解決したいということまで一致している」との小枝人財本部長発言に至りました。

10日後の6月23日と24日に日本航空より「被解雇者組合員全員対象の業務機会を提供する」解決策と「整理解雇問題解決に関する合意書(案)」が提示されました。6月28日から7月5日まで当該44名の意思確認を行うミーティングを開催し意見集約に努めました。そして、全員の意思が確認され、出された意見も含めて7月6日の執行委員会で共有しました。7日から当該44名の意思の最終確認を行った結果、7月13日の特別協議に於いて労使双方で「合意書」締結の確認に至りました。

合意書には、2016年10月に当事者・当該労組・支援組織で確認決定した統一要求の「労使関係の正常化に関する要求」に関連して、「会社は、11年に亘り労使双方の懸案課題となっていた整理解雇問題の解決を通じて労使の信頼関係の正常化に努力する」とした4項目も盛り込まれました。

また、この間、2021年6月に1名、2022年4月、5月に各1名の地上職復職が実現し、現在3名がCCU組合員として就労しています。「解雇を争う裁判手続きが、最高裁敗訴確定で全て終了した後で、復職(本体あるいは関連企業に)した例は、戦後労働運動史上、前例がない」と言われています。地上職希望者のマッチングは引き続き継続されます。

乗務復職は叶いませんでしたが、整理解雇から 12 年目の全面解決は、長期にわたり全国から寄せて頂いた物心両面の多大なご支援があつて、この日を迎えることができました。同時に、2011 年 3 月に CCU と JFU が共同で ILO に申し立てを行い、2012 年の一次勧告から 2018 年の四次勧告に至るまで、一貫して労使協議による解決を要請した ILO の援助の結実です。更に、各政党の議員の皆さまの国会での質疑や追及、ジェンダー平等をテーマに開催頂いた院内集会など、多方面からご援助頂きましたことも解決への大きな力となりました。整理解雇事件は敗訴となりましたが、解雇前に CCU と JFU の争議権に介入した不当労働行為事件は 2 労組の完全勝利の判決となり、司法の良心に基づいて出された高裁判決の意義は、将来にわたって憲法と労組法の金字塔となることと確信いたします。

2010 年 12 月 27 日にいち早く支援組織として結成頂きました「日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議」関係者の皆さまはじめ、全国の 30 支援組織及び財政支援の「支える会」呼びかけ人・賛同者の皆さま、そして日航内労組・産別の皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。

12 年間ともに全力で闘ってくれた CCU 組合員と所属組合を超えて支援を寄せて頂いた客室乗務員の皆さまに、ようやく解決のご報告ができることとなり、感無量です。

日本航空の客室乗務員として培った経験と争議を通して学んだ経験を生かして、44 名は新たな人生に踏み出しますが、引き続き、CCU の存続と発展に皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

最後にミーティングで出された当事者の思いを一部記します。「原告団で続けていくことに揺らいだ時期もありました。闘っていくことはどういうことなのかと自問自答しながらきました。今回の合意は奇跡のように思えます。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」

2022 年 7 月 14 日 CCU 第 5 回臨時組合大会

CCU 被解雇者特別執行委員 内田妙子・飯田幸子・森陽子

CCU 被解雇組合員一同